



SOKEN.SHA
LOVE ▶ FOOD ▶ PEACE

第 49 期

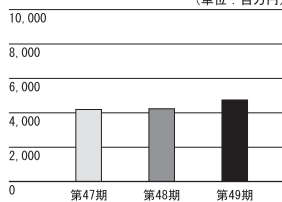
事業報告書

平成27年 4 月 1 日から
平成28年 3 月31日まで

決算ハイライト

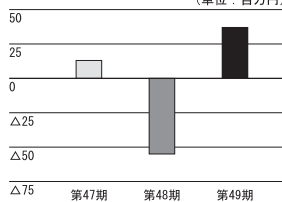
売上高

(単位：百万円)



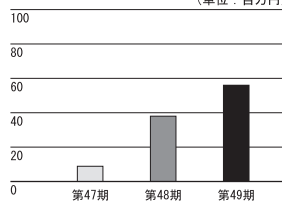
経常利益又は経常損失 (△)

(単位：百万円)



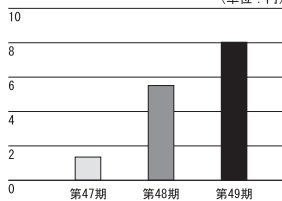
親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



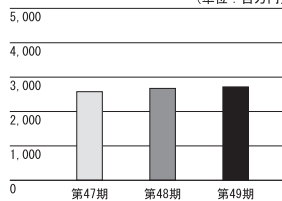
1株当たりの当期純利益

(単位：円)



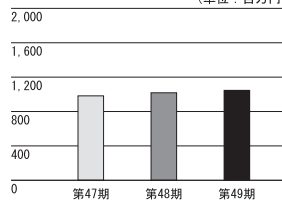
総資産

(単位：百万円)



純資産

(単位：百万円)



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、第49期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の決算が終了し、事業報告書を作成いたしましたので、茲にお届け申し上げます。

食品業界におきましては、食の安全・安心に対するニーズが高まる中、当社グループは、「地球環境を大切にし、食生活の提案を通して人々の健康的な生活向上に貢献する。」という創健社の企業理念の下、食の更なる信頼を目指し、国民の健康増進のため一同全力を尽くしてまいります。

当連結会計年度（平成27年4月1日～平成28年3月31日）におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行による金融政策を背景に企業収益や雇用環境の改善など景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、新興国経済の景気減速や資源国の財政悪化などによる海外経済の減速懸念から、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く食品業界におきましては、食の安全を求める消費者意識が高まる中、訪日客の増加による消費拡大が期待されたものの、個人消費におきましては、先行き不透明の状況により消費者マインドの回復は遅れており、加えて輸入原材料の高騰等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは第3次中期経営計画『50周年を迎え、新購買層への更なるアプローチ（平成26年4月1日から平成29年3月31日まで）』の2年目となります当連結会計年度におきましては、新しい顧客層やその予備軍が多く存在している市場を積極的に開拓・育成し、当社グループブランド商品の新しいファン作りに注力するとともに、海外への輸出を検討し、営業利益を安定的なものへとするために、売上高と売上総利益額拡大を図るよう役員・社員一丸となって取り組んでまいりました。

当連結会計年度における当社グループの商品品目別売上高につきましては、「油脂・乳製品」がマーガリン等の売上減があったものの、えごま油及びコナツオイル等の売上増により、前連結会計年度比2億72百万円増（39.0%増）の9億69百万円、「調味料」が、液体だし及び蜂蜜等の売上減があったものの、マヨネーズ及びドレッシング並びにカレー等の売上増により、前連結会計年度比1億70百万円増（13.8%増）の14億5百万円、「嗜好品・飲料」が、梅果肉ドリンク及び野菜ジュースの売上減があったものの、チョコレート及びポテトチップス等の売上増により、前連結会計年度比25百万円増（3.4%増）の7億71百万円、「栄養補助食品」がキダチアロエ及び乳酸菌等の売上減があったものの、梅エキス及びルイボス茶等の売上増により、前連結会計年度比16百万円増（8.3%増）の2億18百万円、「副食品」がみそ汁及びかき揚げ等の売上減があったものの、即席ラーメン及び五目ちらし寿司並びに炊込みごはん等の売上増により、前連結会計年度比14百万円増（1.6%増）の9億38百万円、「その他」が、スチームオープン等の売上減があったものの、寝具用掃除機及び虫よけスプレー等の売上増により、前連結会計年度比

13百万円増(11.2%増)の1億31百万円となりました。しかしながら、「乾物・雑穀」がパン粉及びキヌア等の売上増があったものの、押麦及び餅きび等の売上減により、前連結会計年度比1百万円減(0.3%減)の3億6百万円となりました。

この結果、全体の売上高は、47億41百万円(前連結会計年度比5億11百万円増、12.1%増)となり、売上総利益率も25.8%と前連結会計年度比0.1ポイント増となりました。販売費及び一般管理費は11億89百万円(前連結会計年度比45百万円増、4.0%増)となり、営業損益につきましては、営業利益33百万円(前連結会計年度は営業損失59百万円)となり、経常損益につきましては、経常利益37百万円(前連結会計年度は経常損失55百万円)という結果にて終了しました。また、親会社株主に帰属する当期純損益につきましては、受贈益18百万円及び投資有価証券売却益11百万円の特別利益の発生があり、親会社株主に帰属する当期純利益56百万円(前連結会計年度比17百万円増、44.8%増)となりました。

今後の事業戦略

第3次中期経営計画『50周年を迎え、新購買層への更なるアプローチ』の最終年度となります翌連結会計年度におきましては、既存の得意先の新しい顧客を増やすことにもつながるよう引き続き新しい顧客層やその予備軍が多く存在している市場を積極的に開拓、育成し、当社グループブランド商品の新しいファン作りに注力するとともに、目標の営業利益額を達成させるために、以下の施策に役員・社員一丸となって取り組む所存でございます。

① 新規得意先の開拓

当連結会計年度より引き続き新規購買客を増やすために、当社グループブランドの新しいファン予備軍と思われる方々(例えば、社会に出る前の若い方・美と健康を意識されている方・出産をひかえている方・子育て中の方・自然志向の生活をしている方・料理好きな方・体調を気にされている方など)が多く存在していると予想される市場(雑貨店やアウトドアショップなど)に対し、積極的に営業を行い新しい販売チャネルの開拓と育成を目指してまいります。

② 当社グループブランド商品のリニューアル及び新規開発

大手流通などもオーガニック商品やスローフードなど、こだわり食品のラインナップを充実させはじめており、市場は我々の業界自体に対して追い風となっています。そのため既存の当社グループブランド商品をより一層新規顧客層に受け入れてもらいやすくするために、内容や形状の変更を積極的に行います。また、前連結会計年度までデフレ傾向で減少気味だった売上総利益率の見直しが可能になるよう当社グループらしいオリジナリティのある商品の開発を翌連結会計年度も積極的に行ってまいります。

③ オーガニック商品の発掘と販売

当連結会計年度より引き続き市場で根付き始め、今後ますます増加すると予測される高品質な国内外のオーガニック商品を積極的に開発及び発掘し販売いたします。また自社商品の品質管理も引き続き強化してまいります。

④ ジロロモーニブランドの再拡充

平成19年より販売を開始したイタリア・オーガニック食品のパイオニア、ジロロモーニシリーズの更なるマーケットの開発のため、従来の売り場での販売強化はもちろん、プロ好みの仕様を生かして業務用としての販売に注力いたします。その一環として、有力イタリアンレストランへのトライアルキャンペーンを全国的に開始。実際のシェフの意見などをマーケティングに取り入れる試みを開始しました。また平成27年1月に東京大学医科学研究所近代医科学記念館にリニューアルオープンした「Organic Lab Cafe ciao bella with GIROLOMONI」もご好評をいただきネットなどでもたびたび取り上げられました。またさらに東京大学駒場リサーチキャンパ

ス内にもciao bellaの経営母体が新たなレストランをリニューアルする予定で、このコラボレーションも積極的に行ってまいります。

⑤ コミュニケーションワードの更なる浸透化

当社のコミュニケーションワードでありますLOVE FOOD PEACEをさらに社会に浸透させるために、当連結会計年度において当社内に新たなプロジェクトチーム「食と暮らしの未来総研(創健)」を立ち上げ、商品開発、営業販促、広告宣伝などのあらゆる当社グループ企業活動のベース作りと活動を行ってまいりました。その成果として登山家の戸高雅史氏とのコラボ商品である「F0reStep」(アタマとカラダを応援する行動食。メープルミックスナッツ)を発売。新たな市場に向けてのさきがけとしました。この活動は翌連結会計年度においても個別の具体的な案件(例えば、有力ヨガスタジオグループとのコラボレーションなど)の中で継続してまいります。

⑥ 当社グループブランド商品の輸出の増加

将来の可能性と売上拡大を模索するために中国、中東での当社グループブランド商品の販売を検討してまいりましたが、当連結会計年度において中国向けに輸出をスタートさせました。今後は商品ラインナップとそのボリュームを増やしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成28年6月



代表取締役社長 中村 靖

主要商品の状況

当社グループの事業は単一セグメントであり、当連結会計年度の販売及び仕入実績をセグメントごとに示すことができないため、品目別に示すと、次のとおりであります。

品目別主要商品販売構成

品目別	前連結会計年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)			主要商品
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	前連結 会計年度比	
油脂・乳製品	697,475	16.5	969,501	20.4	39.0%増	マーガリン・ペに花油・ えごま油・オリーブ油・ ココナッツオイル
調味料	1,234,851	29.2	1,405,108	29.6	13.8%増	醤油・味噌・砂糖・塩・ 酢・カレー・シチュー・ マヨネーズ・ドレッシング ・液体だし・顆粒だし
嗜好品・飲料	745,620	17.6	771,304	16.3	3.4%増	菓子・野菜果汁飲料・お 茶・ドライフルーツ
乾物・雑穀	307,600	7.3	306,598	6.5	0.3%減	小麦粉・パン粉・米・黒 米・雑穀・鰹節・昆布・ ひじき・蓮根粉・ハトム ギ粒・餅きび・押麦・キ ヌア・切干大根・チア シード
副食品	924,241	21.8	938,772	19.8	1.6%増	ジャム・スープ・レトル ト食品・麺類・缶詰・熟 成発酵黒にんにく・パン ケーキ粉・らっきょう甘 酢漬・お節お重商品・炊 き込みごはん・五目ちら し寿司・かき揚げ
栄養補助食品	201,901	4.8	218,692	4.6	8.3%増	青汁・キダチアロエ・梅 エキス・ユーグレナ・ハ トムギ酵素・乳酸菌・天 茶エキス・コラーゲン・ 碁石茶
その他	118,020	2.8	131,188	2.8	11.2%増	トイレタリー・機械器 具・化粧品・虫よけスプ レー
合計	4,229,712	100.0	4,741,166	100.0	12.1%増	—

品 目 別 主 要 商 品 仕 入 構 成

品 目 別	仕 入 高 (千 円)	構 成 比 (%)	前連結会計年度比
油 脂 ・ 乳 製 品	715,721	20.5	35.3%増
調 味 料	1,050,448	30.1	14.2%増
嗜 好 品 ・ 飲 料	578,734	16.6	4.1%増
乾 物 ・ 雑 穀	251,066	7.2	2.0%増
副 食 品	640,718	18.4	1.0%増
栄 養 補 助 食 品	144,671	4.1	6.2%増
そ の 他	109,689	3.1	11.6%減
合 計	3,491,049	100.0	11.0%増

連結財務諸表

連結貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	2,213,021	流 動 負 債	1,125,183
現 金 及 び 預 金	1,171,471	支 払 手 形 及 び 買 掛 金	473,121
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	741,944	短 期 借 入 金	508,960
有 価 証 券	32,326	リ ー ス 債 務	7,947
商 品 及 び 製 品	215,766	未 払 法 人 税 等	11,458
仕 掛 品	11	役 員 賞 与 引 当 金	3,415
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	26,635	賞 与 引 当 金	18,091
そ の 他	25,256	そ の 他	102,191
貸 倒 引 当 金	△389	固 定 負 債	543,422
固 定 資 産	502,385	長 期 借 入 金	216,250
有 形 固 定 資 産	190,500	リ ー ス 債 務	10,084
建 物 及 び 構 築 物	61,197	繰 延 税 金 負 債	8,252
土 地	88,371	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	93,900
リ ー ス 資 産	17,149	退 職 給 付 に 係 る 負 債	178,796
そ の 他	23,780	そ の 他	36,138
無 形 固 定 資 産	12,052	負 債 合 計	1,668,606
そ の 他	12,052	純 資 産 の 部	
投 資 そ の 他 の 資 産	299,832	株 主 資 本	1,027,825
投 資 有 価 証 券	95,250	資 本 金	920,465
保 険 積 立 金	144,301	資 本 剰 余 金	45,965
そ の 他	61,513	利 益 剰 余 金	72,457
貸 倒 引 当 金	△1,233	自 己 株 式	△11,062
資 産 合 計	2,715,407	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	18,975
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	18,975
		純 資 産 合 計	1,046,800
		負 債 純 資 産 合 計	2,715,407

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連 結 損 益 計 算 書

(平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		4,741,166
売上原価		3,517,951
売上総利益		1,223,214
販売費及び一般管理費		1,189,368
営業利益		33,846
営業外収益		
受取利息	172	
受取配当金	1,730	
仕入割引	3,686	
破損商品等賠償金	1,262	
受取手数料	504	
その他	1,332	8,688
営業外費用		
支払利息	4,398	
その他	315	4,714
経常利益		37,820
特別利益		
固定資産売却益	335	
投資有価証券売却益	11,418	
保険解約返戻金	4,029	
受贈益	18,707	34,491
特別損失		
固定資産売却損	441	
固定資産除却損	331	
保険解約損	664	1,437
税金等調整前当期純利益		70,875
法人税、住民税及び事業税		14,582
当期純利益		56,292
非支配株主に帰属する当期純利益		-
親会社株主に帰属する当期純利益		56,292

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

(平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	920,465	411,979	△349,848	△1,183	981,411
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			56,292		56,292
自己株式の取得				△9,878	△9,878
欠損填補		△366,013	366,013		-
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					-
当期変動額合計	-	△366,013	422,306	△9,878	46,413
当期末残高	920,465	45,965	72,457	△11,062	1,027,825

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括 利益累計額合計	
当期首残高	36,776	36,776	1,018,188
当期変動額			
親会社株主に帰属する 当期純利益			56,292
自己株式の取得			△9,878
欠損填補			-
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△17,801	△17,801	△17,801
当期変動額合計	△17,801	△17,801	28,612
当期末残高	18,975	18,975	1,046,800

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

単体財務諸表

貸 借 対 照 表

(平成28年 3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	2,153,888	流 動 負 債	1,088,000
現 金 及 び 預 金	1,145,581	支 払 手 形	39,284
受 取 手 形	15,784	買 掛 金	434,544
売 掛 金	713,846	短 期 借 入 金	270,000
有 価 証 券	32,326	1年内返済予定の長期借入金	213,560
商 品 及 び 製 品	209,957	リ ー ス 債 務	6,642
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	8,375	未 払 金	66,199
前 払 費 用	7,416	未 払 費 用	7,282
立 替 金	18,101	未 払 法 人 税 等	10,317
そ の 他	2,789	預 り 金	6,276
貸 倒 引 当 金	△291	役 員 賞 与 引 当 金	3,415
固 定 資 産	509,709	賞 与 引 当 金	17,491
有 形 固 定 資 産	157,946	そ の 他	12,987
建 物	51,408	固 定 負 債	514,380
構 築 物	33	長 期 借 入 金	198,590
車 両 運 搬 具	431	リ ー ス 債 務	6,483
工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	14,771	繰 延 税 金 負 債	8,252
リ ー ス 資 産	12,267	退 職 給 付 引 当 金	175,623
土 地	79,033	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	93,900
無 形 固 定 資 産	12,043	長 期 預 り 保 証 金	31,531
ソ フ ト ウ ェ ア	9,193	負 債 合 計	1,602,381
電 話 加 入 権	1,279	純 資 産 の 部	
そ の 他	1,570	株 主 資 本	1,042,241
投資その他の資産	339,720	資 本 金	920,465
投 資 有 価 証 券	95,040	資 本 剰 余 金	45,965
関 係 会 社 株 式	44,110	資 本 準 備 金	32,130
出 資 金	15	そ の 他 資 本 剰 余 金	13,835
従 業 員 長 期 貸 付 金	1,208	利 益 剰 余 金	86,845
破 産 更 生 債 権 等	733	そ の 他 利 益 剰 余 金	86,845
差 入 保 証 金	50,834	繰 越 利 益 剰 余 金	86,845
会 員 権	2,071	自 己 株 式	△11,034
保 険 積 立 金	140,394	評 価 ・ 換 算 差 額 等	18,975
長 期 前 払 費 用	846	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	18,975
そ の 他	5,700	純 資 産 合 計	1,061,216
貸 倒 引 当 金	△1,233	負 債 純 資 産 合 計	2,663,597
資 産 合 計	2,663,597		

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		4,621,777
売 上 原 価		3,447,575
売 上 総 利 益		1,174,202
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,127,879
営 業 利 益		46,322
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	164	
受 取 配 当 金	1,717	
破 損 商 品 等 賠 償 金	1,156	
業 務 受 託 手 数 料	1,140	
仕 入 割 引	3,686	
そ の 他	1,829	9,694
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	3,714	
そ の 他	301	4,016
経 常 利 益		52,000
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	239	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	10,948	
保 険 解 約 返 戻 金	4,029	
抱 合 せ 株 式 消 滅 差 益	33,778	48,996
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	331	
保 険 解 約 損	664	996
税 引 前 当 期 純 利 益		100,001
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		13,156
当 期 純 利 益		86,845

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計		
					繰越利益 剰余金			
当期首残高	920, 465	411, 979	-	411, 979	△366, 013	△366, 013	△1, 183	965, 246
当期変動額								
資本準備金の取崩		△379, 849	379, 849	-				-
当期純利益					86, 845	86, 845		86, 845
自己株式の取得							△9, 850	△9, 850
欠損填補			△366, 013	△366, 013	366, 013	366, 013		-
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）								-
当期変動額合計	-	△379, 849	13, 835	△366, 013	452, 859	452, 859	△9, 850	76, 994
当期末残高	920, 465	32, 130	13, 835	45, 965	86, 845	86, 845	△11, 034	1, 042, 241

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	36,450	36,450	1,001,697
当期変動額			
資本準備金の取崩			-
当期純利益			86,845
自己株式の取得			△9,850
欠損填補			-
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△17,475	△17,475	△17,475
当期変動額合計	△17,475	△17,475	59,519
当期末残高	18,975	18,975	1,061,216

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主ご優待制度のご案内

株主の皆様へ日頃のご支援にお応えするとともに、当社商品のご利用を通じて、事業内容をより一層ご理解いただくため、3月31日の最終株主名簿に記録された皆様に下記商品を贈呈しております。

株式保有数	優待内容
1,000株～1,999株	3,000円相当の当社取扱商品詰合せ（Aセット）
2,000株～2,999株	6,000円相当の当社取扱商品詰合せ（A+Bセット）
3,000株以上	10,000円相当の当社取扱商品詰合せ（A+B+Cセット）

ご参考

平成28年7月初旬にお届けする商品です。



Aセット



Bセット



Cセット

「Aセット」

えごま一番（デラミボトル） 200g

えごまの種子（しそ科）を化学溶剤を使わず圧搾法で搾りました。オメガ3（n-3系）脂肪酸の α -リノレン酸を50%以上含んだヘルシーオイル。使い勝手が良く、空気に触れにくい特殊なソフト容器入り。いつでも搾りたてのおいしさ。酸化防止剤不使用。

有精卵マヨネーズ 300g

九州は大分県久住高原の豊かな環境で平飼いされたニワトリたちの大切なタマゴを使ったあっさりまろやか風味のマヨネーズ。

(新商品) 和風ドレッシング 150ml

創健社の「えごま一番」を使用したオメガ3（n-3系）脂肪酸のα-リノレン酸がおいしく手軽に摂れるドレッシングです。国内産丸大豆の醤油&淡路島産玉ねぎ&枕崎産かつお節のだし使用。コレステロール、トランス脂肪酸ゼロ。

(新商品) F0reStep(フォレストップ) 40g

登山家・戸高雅史監修、山でも海でも都会でも、もうひと頑張りしたい時にアタマとカラダを応援する行動食。カシューナッツ・ピーカンナッツ・アーモンドの3つのナッツをカナダ産有機メープルシロップで味付けしました。

植物素材の本格カレー 中辛 135g

動物性原料を一切使用せず、25種類以上のスパイスと植物性素材のみで作りました。おいしさにこだわりながら脂質を30%カット（当社グルメカレー中辛と比較）。

(新商品) 宝宝麵（ポーポーメン）（みそ・しお）

国内産小麦を100%と天然由来のかんすいを使用したノンフライ・ラーメン。特製スープは化学調味料を使用せず、鶏、野菜の旨みで仕上げたこだわりのみそ味と塩味。

「Bセット」

山芋そば 250g

自社製粉した国内産そば粉に山芋粉と海藻（ふのり）を加え、越後の名水「大出口泉水」で練り合わせ製造しています。

水出し黒米入り五穀茶 15g×16袋

黒米をはじめとする五穀（大麦、玄米、もちあわ、はと麦、もちきび）をじっくりと焙煎し、パック詰めしました。冷水でも美味しいお茶ができます。

ふりかけごま（黒） 85g

黒ごまを微粒子状にすりつぶした料理に使いやすいふりかけ胡麻です。胡麻の香りを活かした和え物やごはんやお料理にかけてご利用いただけます。

ハイ・ルテイン 335mg×30粒

目に注目のルテインエキスです。マリーゴールドから抽出したルテインエキスに、DHA、ビルベリーエキス、ビタミンE等を配合した健康志向の食品です。

金笛 減塩醤油（デラミボトル） 200ml

本醸造醤油から独自の方法により旨味成分はそのまま、食塩のみを50%カットした風味豊かな減塩醤油です。空気に触れず酸化しにくいボトル容器入り。

うの花クッキー 20枚

国内産小麦粉に、食物繊維を含むおからと、豆乳を練り込みおいしく焼き上げました。卵やバターを使わず、植物性素材だけで作ったプレーンなクッキー。

さば水煮 190g（固形量140g）

西日本で水揚げされた鯖を「地中海の天日塩」でまろやかに水煮にしました。そのままでも、またお料理の素材にもご利用いただけます。

「Cセット」

国産牛プレミアムローストビーフ 300g

国産牛のもも肉を使用して塩・こしょうをベースにじっくりとローストしました。肉の旨味を味わっていただけます。（冷凍品）

また、当社商品は特定の原材料を用いる事が多い事から、原材料の調達の都合により株主優待商品がご案内と異なる事がございます。どうかご理解ご了承賜りますようお願い申し上げます。

会社概要

商 号 株式会社 創健社
 英訳名 Sokensha Co., Ltd.
 所在地 〒221-8741
 横浜市神奈川区片倉二丁目37番11号
 TEL (045) 491-1441
 設 立 昭和43年 2 月 5 日
 (証券コード：7413)
 資本金 9 億2,046万 5 千円
 決算期 3 月31日 (年 1 回)

取締役及び監査役

地 位	氏 名
代表取締役社長	中 村 靖
取 締 役	岸 本 英 喜
取 締 役	山 田 一 斗 資
取 締 役	飯 田 雅 之
取 締 役	合 田 真 琴
常 勤 監 査 役	本 田 次 男
監 査 役	的 場 堅 志
監 査 役	鈴 木 久 衛

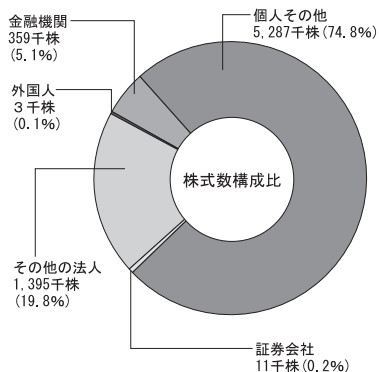
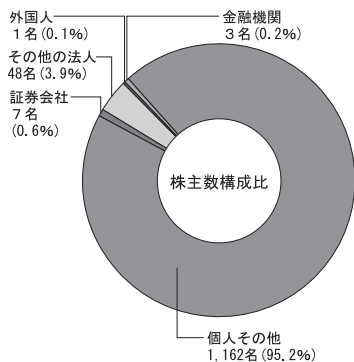
株式の状況

発行可能株式総数 20,000,000株
 発行済株式の総数 7,055,000株
 一単元の株式数 1,000株
 株主数 1,221名

大株主

株 主 名	持 株 数 (千株)	持株比率 (%)
中村 靖	840	12.01
中村 澄子	782	11.17
創健会（取引先持株会）	599	8.55
太田油脂株式会社	590	8.43
株式会社横浜銀行	317	4.52
有限会社タカ・エンタープライズ	196	2.80
原田 こずえ	189	2.71
創健社従業員持株会	163	2.34
福岡文三	133	1.90
月島食品工業株式会社	129	1.85

(注) 持株比率は自己株式（57,009株）を控除して計算しております。





株式 創健社
会社

横浜市神奈川区片倉二丁目37番11号

TEL045 (491) 1441 (代) 〒221-8741

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日
	期末配当 3月31日
	※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〔受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、 年末年始を除く)〕 ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/ 東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード) 電子公告により行います。 http://www.sokensha.co.jp/company/ ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 なお、当社の貸借対照表並びに損益計算書は、EDINET (金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム) にて開示しております。
上場証券取引所 公告方法	

(株式に関する手続き)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せ下さい。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行株式会社) にお問合せ下さい。
3. マイナンバーの利用範囲には株式の税務関係手続きも含まれます。株主様は口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) へマイナンバーをお届出下さい。

